

VOICE 01 有村 愛 Ai Arimura

職 種：救急救命士
所 属：(鹿児島県)霧島市立
医師会医療センター



後悔がないように

奥能登豪雨災害支援の際、断水地域でシャワー浴介助を行いました。被災した方から「ありがとう」という言葉をいただき、その笑顔と涙が印象に残っています。「後悔がないように」と、思い切ってロスター活動に挑戦して本当に良かったです。派遣中に応援動画を送ってくれた職場のスタッフには、感謝の気持ちでいっぱいです。

登録検討中の方へメッセージ

職種を問わず、「救いたい」という熱い想いをもらった仲間たちと出会えます。私は活動を通じて、自分に足りない知識や技術と向き合うことができ、「もっとスキルアップしたい!」とモチベーションの向上につながりました。少しでもロスター登録に迷っていたら、ぜひ一歩を踏み出してみてください!

職場の方の声

霧島市立
医師会医療センター
救急科医長

政所 祐太郎 さん



有村さんは、災害派遣や訓練に参加する度に一回り大きく成長し、頼もしくなっています。現場で他施設や異業種の方と交流することで、スタッフ個人のスキルアップや人脈形成につながっているようです。現地で得た学びは、帰ってきた時にシェアしてくれるので、組織全体の成長にもつながり、さらに自院での災害医療においても大きなメリットになると考えています。

VOICE 02 牟田 隆則 Takanori Muta

職 種：医師
所 属：福岡徳洲会病院
集中治療科



幅広い経験は人生の糧

第1回(2021年)の災害派遣トレーニングからロスターの活動に参加しています。能登半島地震の際には、避難所を自分たちで開設し、臨時診療所や医療コンテナで日中及び夜間にも診療を行いました。災害関連死の防止や衛生環境の管理、物資の支援まで、幅広い経験ができて、人生の糧になりました。

登録検討中の方へメッセージ

私の場合、現地に行くまで不安と期待が入り混じっていましたが、所属部署の上司や同僚から快く送り出してもらい、現地では誇りを感じながら活動することができました。ぜひ一緒に活動していきましょう!

VOICE 03 藤村 泰史 Yasuchika Fujimura

職 種：看護師
所 属：順天堂大学医学部附属
順天堂越谷病院



官民のネットワークが強み

能登半島地震支援の際には、道路が寸断されて孤立していた避難所へ、航空自衛隊と"ARROWS"のヘリコプターで現地に入り、協働して診療にあたりました。現地には仮薬局を開設し、協力企業から提供いただいた薬剤等を処方。多くの避難者に対して、必要な薬剤を応急的にお渡しできました。

登録検討中の方へメッセージ

職種も年齢も住んでいる地域も様々ですが、ロスター同士の交流は活発です! 懇親会や情報交換会、自主勉強会を行い、お互いを高め合っています。ロスター活動では、災害サイクルすべてのフェーズで活動する機会があります。ぜひ皆さんの英知を集結させて一緒に被災地で活動しましょう!

お問い合わせ

運営：特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン
〒720-1622 広島県神石高原町近田1161-2 2F
TEL：0847-89-0885(代)

空飛ぶ捜索医療団"ARROWS"は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン、公益社団法人Civic Force、一般社団法人アジアパシフィックアライアンスで構成される災害緊急支援プロジェクトです。 <https://arrows.peace-winds.org/roster/>



災害緊急支援プロジェクト ARROWS ROSTER



一秒でも早く、一人でも多く。

命を救うために、 仲間が必要です。

災害支援の最前線で活躍してみませんか?

ロスターの 皆さんは かけがえのない宝

災害時に迅速かつ的確な支援を実現するうえでロスターの皆さんの存在は他のどの組織にも真似できない強みです。それぞれの専門性と現場に向き合う覚悟が、私たち"ARROWS"スタッフとともにミッションを実現する力となっています。

ロスターの皆さんは私たちの誇りであり、
かけがえのない宝です。
ともに命と暮らしを守る支援を届けていきましょう。

プロジェクトリーダー・医師

藤村 泰史



プログラムパートナー

ロスター育成事業は、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの助成を受け実施しています。

Johnson & Johnson

私たちだからこそ、守れる命がある。

ABOUT



空飛ぶ捜索医療団"ARROWS"とは

「一秒でも早く、一人でも多く」の命を救うことを使命として、大規模災害の被災地にいち早く駆けつけ、救助・救命活動を行う災害緊急支援プロジェクト。

航空機・ヘリコプター・船などのロジスティクスを保有または運用し、医師や看護師、レスキュー隊員、災害救助犬などの救助チームが迅速に駆けつけられる体制を整備しています。

東日本大震災以降、ほぼ全ての国内大災害に出動。現場では自治体・自衛隊・消防・病院・企業等とのネットワークを構築し、救助・救命から物資配布や避難所運営、中長期的な復興サポートまで実施しています。

ROSTER



ロスター（登録隊員）とは

災害発生時に各々のスキルを活かし、ARROWSのスタッフとともに現地で活動する隊員。登録申込後、本業に支障のない範囲で各種訓練・研修に参加し、審査を経て、災害時にご活躍いただきます。

活躍が想定される職種

医師／看護師／介護福祉士／理学療法士／獣医師／薬剤師／助産師／救急救命士／作業療法士／救助隊員／救助犬ハンドラー／パイロット／カメラマン／ドローンオペレーター／ロジスティシャン等。

＊職種に制限はありませんので、まずはご登録をお願いします。

FLOW

ロスター制度の流れ



DATA

ロスター派遣実績

ロスター派遣実績	2021-2023 コロナ支援	2022.6-9 ウクライナ 人道支援	2023.3-4 トルコ地震	2023.5 石川能登地方 地震支援	2024.1-2025.3 能登半島 地震支援	合計 (職種)
医師		1	2		9	12
看護職	10	4	4	2	23	43
薬剤師		1		1	1	3
臨床検査技師			1	1	2	4
救急救命士					2	2
その他※	1				8	9
合計	11	6	7	4	45	73

※その他の職種・・・心理士、精神保健福祉士、医学経営士、消防士、レスキュー隊員、鍼灸師、自営業、会社員、医学生



2023 トルコ地震



2024 能登半島地震支援

Q&A

Q.本業と兼任しての登録は可能ですか？派遣について勤務先との調整はお願いできますか？

A.多くのロスターの方々は、常勤で働きながら登録されています。ご要望があれば招聘状等を作成し、ご勤務先に提出することは可能ですが、基本的にはロスターの皆さまご自身で調整いただくこととなります。

Q.現地での安全はどのように管理されていますか？

A.ロスターの方は、ARROWS先遣隊の安全確認後に現場へ赴くため、生命に危険が及ぶ可能性のある現場で活動することはありません。しかし、地震後に余震の可能性があるように、100%安全を保障することは難しいため、平時から国際／民間機関主催のセキュリティ研修を受講しておくことをお勧めします。

Q.ロスター登録を維持するためには、年にどのくらい訓練に参加する必要がありますか？

A.プレロスターの方の登録維持要件はありません。ロスターの方は、①年1回以上ARROWSの訓練等への参加（オンライン可）、②本登録更新確認への合意（毎年度末）の2点が維持要件です。

Q.どのような契約で活動するのですか？

A.一時的な雇用契約を締結します。ご勤務先の事情（公務員である等）で雇用契約が困難な場合は、ボランティア隊員としての活動に同意いただくことで、宿泊費等の実費のお支払いと団体保険の適応が可能になります。

ロスターへのエントリーはこちら →

